

令和5年度

地域福祉学習事業実績報告

町内の各小中学校(5校)を指定し、地域ぐるみで生徒・児童を守り育てようとする取り組みを支援することにより、共に支えあう地域社会づくりを推進することを目的に「地域福祉学習事業」を実施しています。(この事業は、共同募金の配分を受けて実施しました。)

神戸小学校

目的

様々な障がいがある方や高齢者の方とふれあう活動を通して、誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立つて行動する。

内容

- ①「あすチャレ!パラアスリートから共生社会を学ぶ。」
・車いすバスケットボールの講話と体験学習
- ②花の苗
- ③福祉体験セット(前かがみ体験教材)
- ④福祉の本

成果

5年生の総合的な学習の時間で「ふれ合い・学び合い私たちの福祉活動」のテーマで学習を行った。様々な障がいのある方や高齢者体験活動を通して、誰に対しても思いやりの心や相手の立場になって行動することができた。



下宮小学校

目的

様々な人とのふれあいや体験的な活動を通して福祉について学び、福祉の心を養い、進んで福祉活動に参加しようとする態度を育てる。

内容

- 福祉に関する体験活動、ふれあい活動
- ・「あすチャレ!スクール」実施
- ・高齢者、障がい者の疑似体験
- ・デイサービスセンター訪問
- 栽培活動
- ・花壇づくり、水やり、施肥等の世話
- 課題追及学習
- ・課題解決のための調べ学習とまとめ



▲ 社会福祉施設を訪問し高齢者と交流



▲ 障がい者・高齢者の擬似体験の実施



成果

- ・障がい者や高齢者の疑似体験を通して生活する上での困難さに気づき、児童一人一人が課題をもつて学習に臨んだり、自分にできることを考えたりすることができた。
- ・パラアスリートによる車椅子バスケットの体験や講話を通して、パラスポーツへの理解を深めたり、夢に向かって努力しようという気持ちをもちたりすることができた。
- ・デイサービスセンターを訪問し、実際に高齢者とともに活動したり、施設・設備の見学をしたりすることができ、高齢者福祉への理解を深めることができた。
- ・栽培活動を通して、命を大切にしたり、気持ちよく過ごせる環境をつくるうとしたりする意識を高めることができた。



▲ 大根の収穫



▲ サツマイモの苗植え

目的

福祉活動を積極的に推進し、福祉教育の充実を図る。

内容

○心の教育推進活動

・バラや野菜、ハリウオの世話を年間を通して行つた。夏休みも、PTA奉仕活動として、バラや野菜の水やりを行った。命を大切にしていこうとする気持ちが育まれている。

・3年生児童は、総合的な学習の時間「神戸はかせになろう」の学習で、ハリウオの生態を学習するため、大垣市加賀野池での校外学習を実施した。自分達の住む地域の自然環境を守っていきたいという意欲が高まった。

南平野小学校



▲ あすチャレ！スクールでのパラスポーツ体験

成果

- ・野菜やバラ、ハリウオを心を込めて育てる活動を通して、自然や生命を尊重する心情を育てることができた。
- ・あすチャレ・スクールでパラスポーツについて学ぶことで、パラアスリートの迫力を体感し、障がいに対する見方を転換したり、難しいことにも一生懸命取り組むことの大切さに気付いたりすることができた。

福祉学習

- ・5年生児童は、総合的な学習の時間「共に生きる」の学習で、日本財団パラスポーツサポートセンターが開催する「あすチャレ！スクール」に参加した。パラアスリートのハイパフォーマンスを生で見、その迫力を体感した。また、パラスポーツを体験し、パラスポーツの楽しさや難しさを体感したり、応援することの意義、効果、力を実感したりした。さらにパラスポーツ選手に話を聞く中で、自分のもっている可能性に挑戦することの大切さや、夢や目標をもつ価値や重要性について考えた。



内容

○お世話になった方々への感謝活動や環境活動

- ・ビオラの栽培活動
- ・生ゴミリサイクルによる土作り活動
- ・みかんの収穫

○校内花壇、果樹園、畑整備等

○授業(総合的な学習・生活科・クラブ等)での地域の方とのふれあい活動

- ・バラづくり(講師)
- ・野菜や米づくり(講師)
- ・和太鼓の演奏活動(講師)

目的

- ・高齢者や幼児、障害のある方とのふれあいを中心とした福祉学習を意図的・計画的に工夫し実践することで、他への思いやる心を育てる。
- ・学校、保護者、地域との連携がより強化され、地域全体で支え合う温かい絆づくりを推進する。

北小学校



成果

① 地域との連携により、教育活動のより一層の充実が図られ、北地区全体で支え合う温かい絆づくりが推進できている。

② 体験活動の充実を通して、「間接体験」や「疑似体験」では、得られない感動や驚きを味わい、自ら学ぶ意欲が育ってきている。

③ なかよし学級では、和太鼓演奏の活動を通して、リズム感を体全体で覚え表現したり、意欲的に集中して活動に取り組んだりする姿が見られている。

内容

① 社会福祉協議会主催 もちのき園 夏季ボランティア
② 神フェス バザー出店
③ 交流用野菜栽培
④ もちのき園との交流事業
⑤ 交流用鉢花

成果

① 夏季ボランティアとして、もちのき園で多肉植物の寄せ植えを開催した。希望した参加生徒はお互い交流しながら、一緒に寄せ植えの鉢植え作りやふれあいを楽しむことができた。

② 特別支援学級の生徒が居住地交流の生徒や学校職員との交流を行うために、サツマイモ等の苗を植えた。収穫した野菜を調理したり、プレゼントをしたりするなど、生活単元の一環として畑での活動をした。

③ 神戸町主催「神フェス」に特別支援学級のブースをいただき、物品の販売を行った。革製品の作成や現地のお客さんとのやり取り、販売会計等を体験することができた。

目的

・地域の清掃、行事への参加、ボランティア活動への参加等を通して、感謝の心、地域の一員としての自覚をもてるようにする。

・農作物や植物を育て、それを役立てることを通して、生命を大切にすることを育てる。

神戸中学校



④ もちのき園との交流でクリスマスリースを作成しプレゼントした。作成する喜びや渡した時の笑顔を感じることができ、有効な事業であった。

⑤ 卒業式に飾る鉢花を、「もちのき園」「たんぽぽ学園」に寄贈する。この交流を継続することで福祉への意識を高める。

